

第66期 報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで



Structural Reform



サンメッセ株式会社

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

このたびの東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞い申しあげますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申しあげます。

当社は平成23年3月31日をもって、第66期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに当事業年度の会社の現況につきまして、ご報告申しあげます。

平成23年6月



代表取締役会長

代表取締役社長

田中良孝 田中義一

CONTENTS

株主の皆様へ	1	Sun Messe News	7
会社の現況	2	株式の情報	9
財務の状況	3	会社の概況	10
業績の推移	5	株主メモ	10

事業の経過及びその成果

当事業年度におけるわが国経済は、株価低迷や円高を背景に、企業収益の減少や設備投資の抑制、さらにはデフレ懸念と雇用情勢の悪化傾向などに起因する景気の不透明感が見られるものの、一部に改善の兆しが見え始めておりました。しかしながら、年度末に発生いたしました東日本大震災の国内経済に及ぼす影響は計り知れず、先行きの情勢は見通せない状況となっております。

印刷業界におきましても、紙媒体から電子媒体への移行に伴う需要の減少が進む中、同業者間の受注競争の激化や企業の経費削減による需要の減少が続くなど、依然として厳しい経営環境で推移いたしました。

当社は、このような事業環境の中で「創業75周年『原点回帰の年』」を会社の年度方針として、改めて創業時の精神に立ち返り、お客様により密着した営業活動で顧客満足を高めると共に、常に新しい取り組みや新分野へ挑戦し、更なる技術力の向上に努めることにより収益の改善に努めてまいりました。

これらの結果、売上の部門別では、一般商業印刷物は、特にカタログ・ダイレクトメールやポスター等が前事業年度を上回り、103億10百万円（前事業年度比104.6%）となりました。また、出版印刷物は17億33百万円（前事業年度比99.2%）、包装印刷物はパッケージ等が前事業年度を上回り20億94百万円（前事業年度比129.5%）となりました。

利益面におきましては、依然として受注単価の低迷が改善されない状況ではありましたが、受注の増加により売上高が増加したことや、原材料費が比較的下げ基調で推移したことなどの影響もあり、2期連続の赤字とい

う厳しい状態から黒字に転換することができました。

以上の結果、売上高は141億38百万円と前事業年度に比べて6.9%の増収となり、利益面におきましては、営業利益78百万円、経常利益1億66百万円、当期純利益は11百万円とそれぞれが増益となりました。

なお、期末配当金につきましては、平成23年5月20日開催の取締役会において、1株当たり3円と決議しております。平成22年12月6日に中間配当として1株当たり3円を実施しておりますので、当事業年度の配当金は1株当たり6円となります。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、世界的な景気低迷の影響は緩やかに改善の動きが見られたものの、このたび発生いたしました東日本大震災の復興の見通しや国内経済に与える影響など不透明な状況です。

このような環境下において当社は、思い切った変化を求め「構造改革の年」を会社方針としました。ペーパーレス化に伴う需要の減少が進む中、変化に柔軟に対応して更なる新市場、新技術への挑戦を推し進めると共に、収益性を改善するため、引き続き生産性の向上、品質の確保、徹底したコスト低減を図り、企業体質の強化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましても、今後ともなお一層のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

貸借対照表

科 目	第66期	第65期
	(平成23年3月31日現在)	(平成22年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	5,850	5,082
現金及び預金	1,418	919
受取手形	1,123	1,004
売掛金	2,608	2,521
有価証券	100	—
たな卸資産	447	432
繰延税金資産	152	132
その他	54	158
貸倒引当金	△ 54	△ 84
固定資産	11,724	12,674
有形固定資産	8,716	9,379
建物	2,211	2,345
機械及び装置	2,379	2,896
土地	3,832	3,832
その他	293	303
無形固定資産	71	76
投資その他の資産	2,936	3,218
投資有価証券	2,167	2,249
繰延税金資産	553	759
その他	229	451
貸倒引当金	△ 13	△ 241
資産合計	17,575	17,756

(単位/百万円)

科 目	第66期	第65期
	(平成23年3月31日現在)	(平成22年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	5,009	5,004
支払手形	341	335
買掛金	1,468	1,408
短期借入金	2,000	2,260
1年内返済予定の長期借入金	127	149
未払法人税等	23	16
未払費用	408	407
賞与引当金	257	188
その他	383	239
固定負債	2,381	2,531
長期借入金	143	87
退職給付引当金	1,784	2,022
役員退職慰労引当金	287	272
その他	167	148
負債合計	7,390	7,535
純資産の部		
株主資本	9,887	9,979
資本金	1,236	1,236
資本剰余金	1,049	1,049
利益剰余金	8,007	8,098
自己株式	△ 405	△ 405
評価・換算差額等	296	241
純資産合計	10,184	10,220
負債・純資産合計	17,575	17,756

損益計算書

(単位/百万円)

科 目	第66期	第65期
	(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売 上 高	14,138	13,222
売 上 原 価	11,643	11,111
売 上 総 利 益	2,494	2,110
販売費及び一般管理費	2,416	2,326
営 業 利 益	78	△ 216
営 業 外 収 益	151	171
営 業 外 費 用	63	72
経 常 利 益	166	△ 117
特 別 利 益	200	39
特 別 損 失	190	58
税引前当期純利益	177	△ 136
法人税、住民税及び事業税	11	11
法人税等調整額	153	△ 32
当 期 純 利 益	11	△ 115

キャッシュ・フロー計算書

(単位/百万円)

科 目	第66期	第65期
	(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,024	772
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 143	△ 1,199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 402	53
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	478	△ 372
現金及び現金同等物の期首残高	869	1,242
現金及び現金同等物の期末残高	1,347	869

株主資本等変動計算書

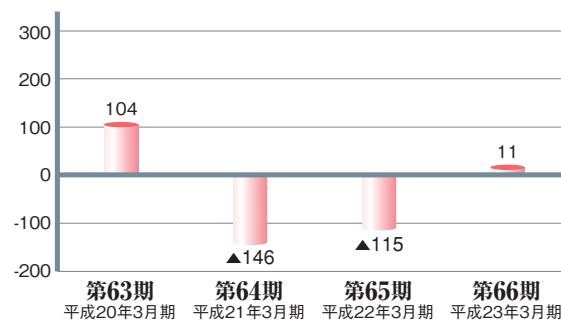
(単位/百万円)

	第66期 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)							第65期 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)						
	株 主 資 本					評価・換算 差額等	純資産 合計	株 主 資 本					評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計		
前 期 末 残 高	1,236	1,049	8,098	△ 405	9,979	241	10,220	1,236	1,049	8,317	△ 405	10,198	196	10,394
事業年度中の変動額														
剰余金の配当			△ 103		△ 103		△ 103			△ 103		△ 103		△ 103
当期純利益			11		11		11			△ 115		△ 115		△ 115
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0				—	—		—
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						54	54						45	45
事業年度中の変動額合計	—	—	△ 91	△ 0	△ 91	54	△ 36	—	—	△ 218	—	△ 218	45	△ 173
当 期 末 残 高	1,236	1,049	8,007	△ 405	9,887	296	10,184	1,236	1,049	8,098	△ 405	9,979	241	10,220

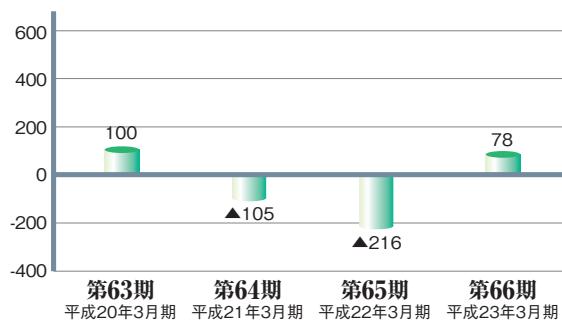
① 売上高 (単位/百万円)



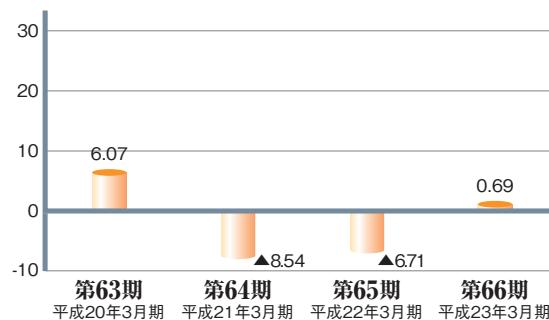
④ 当期純利益 (単位/百万円)



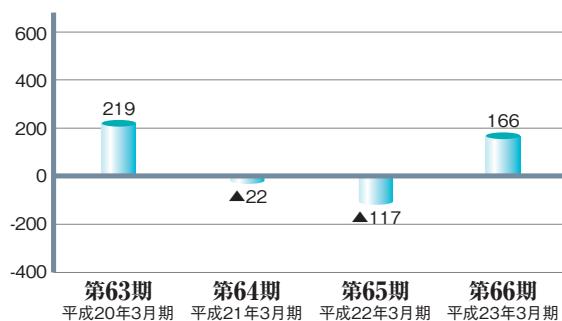
② 営業利益 (単位/百万円)



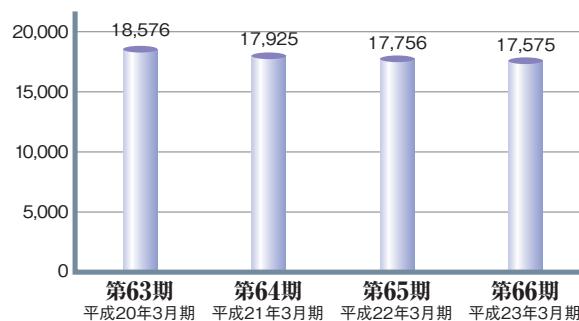
⑤ 1株当たり当期純利益 (単位/円)



③ 経常利益 (単位/百万円)



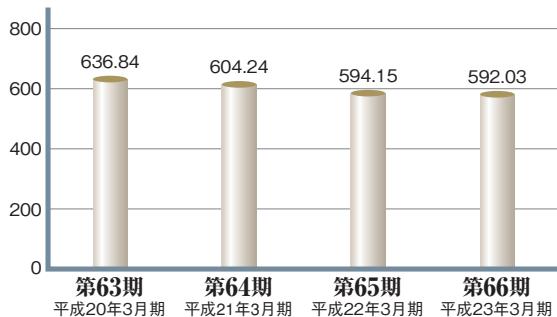
⑥ 総資産 (単位/百万円)



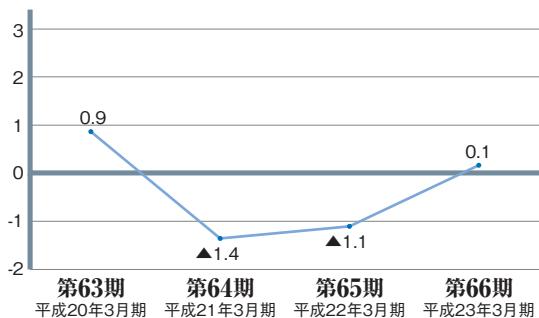
⑦ 純資産 (単位/百万円)



⑧ 1株当たり純資産 (単位/円)



⑨ 自己資本利益率 ROE (単位/%)



用語説明

① 売上高

会社が製品、サービスなどを販売・提供し、得られた営業上の収益。

② 営業利益

会社本来の事業活動から得られた利益で、収益実態を見るうえで最も基本的な数値。売上高から売上原価、販売費、一般管理費を差し引いたもの。

③ 経常利益

営業利益から営業外の損益を加減した利益で、経営成績を最もよく反映する利益として重視される。

④ 当期純利益

税引前当期純利益から法人税等を控除した最終利益。純利益、税引後利益、最終利益とも呼ばれる。

⑤ 1株当たり当期純利益

1株当りに換算して会社がどれだけ利益を上げたかをみる指標。

⑥ 総資産

貸借対照表の「資産の部」を合計した数値。会社が所有している財産、権利などの価値の総量を企業会計というものさしで計ったもので、企業の大きさを表す一般的な指標。

⑦ 純資産

資産の総額から負債の総額を控除した金額。

⑧ 1株当たり純資産

純資産の1株当たりの持ち分を表す指標。数値が高いほど一般的によいとされる。

⑨ 自己資本利益率

自己資本に対してどれだけ利益を上げているかをみる収益性の指標。この数値が高まれば株価を押し上げる要因となります。

●JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を開催

平成22年12月、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」（通称：ユメセン）を地元大垣市の小学校にて開催いたしました。「ユメセン」とは、現役JリーガーやOB選手、その他種目の現役選手を「夢先生」として小学校へ派遣し、「夢の教室」と呼ばれる授業を行う、JFA（日本サッカー協会）が広めている取り組みで、当社が社会貢献活動の一環として開催いたしました。

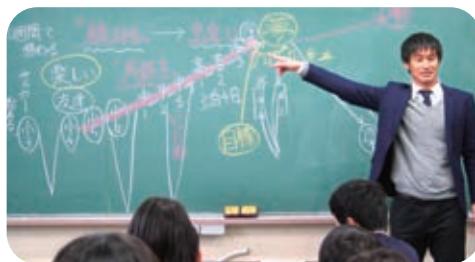


今回の「夢先生」
安永 聡太郎 先生

山口県出身。
サッカーU-20日本代表に選出され、
FIFA U-20ワールドカップに出場。
高校卒業後、横浜マリノス（当時）に
入団し、翌年にはスペインのレリダ
に移籍。
一度日本へ戻ったのち、2002年には
再びスペインのラシン・デ・フェロ
ールでプレー。
現役を引退した現在はユメセンイン
ストラクターとして全国を飛び回る
傍ら、サッカー解説やサッカースク
ールでの指導にあたっている。



この開催にあたっては、当社夏祭りの売上金と社員からの募金を集め、「子供たちの思い出に残ることを届けたい」「夢や目標と出会えるきっかけになって欲しい」という思いから企画されました。今回、ユメセンの教壇に立ったのは、サッカー元日本代表の安永聡太郎さんで、「ゲームの時間」「トークの時間」を通じて子供たちに「夢や目標を見つけることの大切さ」「仲間という存在の重要性」を楽しみながら伝えていただきました。



先生の夢達成までの「夢曲線」



あこがれの先生と握手

●東日本大震災の被災地・被災者支援として義援金を寄付

当社は、3月11日に発生いたしました東日本大震災による被災者の救済及び被災地の復興支援のため、義援金として5,000,000円を寄付するとともに、従業員募金として2,154,900円、労働組合が組合員から集めた募金715,000円とあわせて全体で7,869,900円を寄付いたしました。

東日本大震災により被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

●改善 (カイゼン・KAIZEN) 件数 初の7,000件突破!!

当社は、改善(カイゼン・KAIZEN)活動を積極的に推進しており、平成17年度に初めて改善6,500件(一人平均約7.5件)を超えました。その後、7,000件超えを目標に取り組みをしておりましたがなかなか達成には至りませんでした。平成22年度は、「毎月改善」を合い言葉に取り組み、初めて7,000件(一人平均約8.8件)を超え、7,637件まで改善件数が伸びました。

品質もコストも今まで以上に厳しいものが要求され、新しい作業方法や環境を変えなければ日々変化する社会情勢に対応できません。このような変化に対応するため、社員一人一人が考え、作業を少しでも楽になるようにすることが「改善」です。当社では、改善の積み重ねが会社の生産性を上げ、そして株主様の利益につながっていくと考えています。

今後は「カイゼン」の意識を1ランクアップさせ、さらにすばらしい効果、すばらしい会社とされるよう、社員一丸となって取り組んでいきます。



●「サンメッセ共栄会」発足

当社と取引のある企業と相互の信頼関係をより深く構築することを目的に「サンメッセ共栄会」が結成され、1月18日に47社80名の参加のもと、発足会兼第1回総会が行われました。

発足会では、会の発起人である日本紙パルプ商事株式会社の取締役名古屋支社長・松田浩之様に会長に就任いただき、役員を選出、会則等の審議を経て、正式に発足いたしました。



●窓抜貼機・アラビア糊付乾燥機導入

平成23年2月、本社工場の製本課に窓空き封筒の窓抜きと窓貼りを同時に行うことができる機械(FWC-S2)を導入、また同時にアラビア糊付け加工と乾燥を高速で行える枚葉加工機(FG/2R)を導入しました。FWC-S2は窓抜き作業の省略、角2封筒サイズまでの加工が可能で、今まで行っていた手作業もなくなります。この機械の導入で生産性の向上、短納期、製品提供の幅が広がり、さらなる受注拡大に努めていきます。

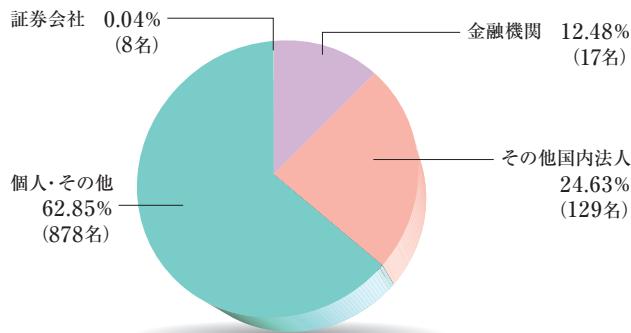


株式の状況 (平成23年3月31日現在)

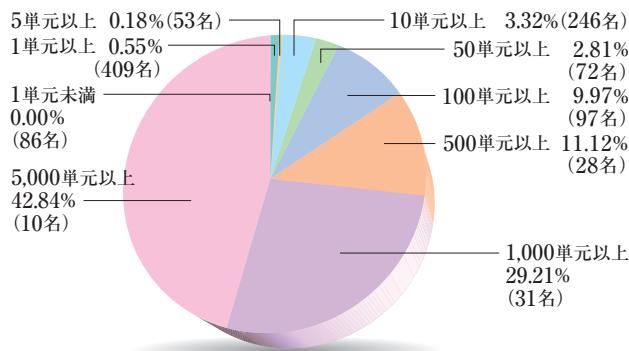
①発行可能株式総数	60,000,000株
②発行済株式の総数	17,825,050株
③株主数	1,032名

株式分布状況

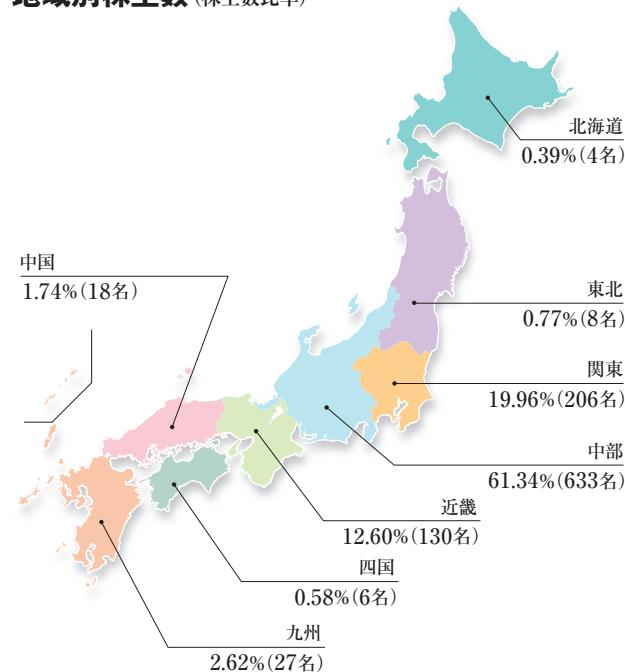
所有者別株式分布状況 (株式数比率)



所有数別株式分布状況 (株式数比率)

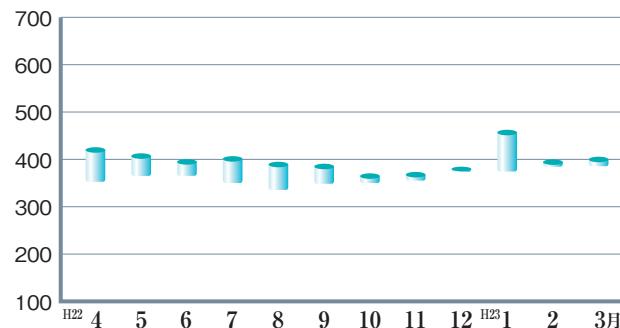


地域別株主数 (株主数比率)



(注) 比率は小数点以下第三位を四捨五入しております。

株価推移 (単位/円)



会社概要

商号	サンメッセ株式会社
設立	昭和21年9月20日
資本金	1,236,114千円
従業員数	741名(他社への出向者、嘱託、パートは含まれておりません。)

主要な事業内容

一般商業印刷を中心に出版印刷、包装印刷を営む総合印刷会社。企画、デザイン、製版、印刷、製本、製袋等に至る設備を有し一貫生産。チラシ制作支援等のシステム開発、セキュリティ、衛生管理を徹底したサービスを実施。印字、封入、封函を行うDPS(デジタルプリントサービス)やPOD(プリントオンデマンド)を強化。WebサイトやDVDなどのコンテンツ制作等の企画開発。

役員(平成23年6月24日現在)

取締役会長	*田中良幸	
取締役副会長	*田中勝英	
取締役社長	*田中義一	
取締役	松井巖	常務執行役員営業本部長 兼 公共営業部長
取締役	田中尚一郎	常務執行役員営業副本部長 兼 関東統括部長
取締役	木村伸男	執行役員監査室長
取締役	長井芳郎	執行役員営業副本部長 兼 名古屋営業部長
取締役	水谷和則	執行役員営業副本部長 兼 営業開発部長
取締役	今井稔	執行役員購買本部長 兼 購買部長
取締役	竹林啓路	執行役員製造本部長
取締役	伊東覚	執行役員製造副本部長 兼 本社工場長
常勤監査役	長屋英機	
監査役	吉野銃城	
監査役	加藤文夫	税理士
監査役	伊藤 暁	

※は、代表取締役であります。

本社および事業所(平成23年6月24日現在)

本社	岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-1
支店	東京支店(東京都江東区) 大阪支店(大阪府中央区) 名古屋支店(名古屋市中区) 岡崎支店(愛知県岡崎市) 愛岐支店(愛知県一宮市) 岐阜支店(岐阜県岐阜市) 三重支店(三重県桑名市) 滋賀支店(滋賀県彦根市)
営業所	京都営業所(京都市中京区)
研究所	サンメッセ情報館(岐阜県大垣市)
工場	本社工場(大垣市)・中工場(大垣市)・西工場(大垣市)
系列会社	日本イベント企画株式会社(岐阜県岐阜市)

※平成23年4月に赤坂営業所は東京支店に統合されました。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
定時株主総会基準日	毎年3月31日(議決権行使株主確定日)
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

*公告掲載のホームページアドレス
http://www.sunmesse.co.jp/

株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部

郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店及び全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
---------------	--

(お知らせ)

■株式に関する住所変更等のご照会及びお届出について

株式に関するお手續(住所、姓名などの変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株式の買取請求など)のご照会及びお届出につきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、上記の中央三井信託銀行にお問い合わせ下さい。

■配当金のお受け取り方法について

配当金領収証による受領方式及び配当金振込口座指定方式に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で保有しているすべての銘柄の配当金のお受け取りや証券会社の口座でもお受け取りができます。お手続きにつきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、上記の中央三井信託銀行にお問い合わせ下さい。

■未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である上記の中央三井信託銀行にお問い合わせ下さい。

structural reform (構造改革)

当社は、平成23年度の会社方針を「構造改革の年」としております。

●ホームページのご案内

サンメッセのホームページでは、企業情報などに関する詳しい情報をご覧いただけます。IR情報（投資家様向け情報）にも、ダイレクトでアクセスできますので、こちらもどうぞご利用下さい。

サンメッセ・ホームページアドレス
<http://www.sunmesse.co.jp/>

トップページ

<http://www.sunmesse.co.jp/>



IR情報サイト

<http://www.sunmesse.co.jp/ir/index.html>



人・物・情報を集積・発信 印刷を核に、情報社会に貢献します

サンメッセ株式会社



JQA-EM1779
本社・本社工場
中工場・西工場



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。



環境にやさしい水なし平版
印刷を採用しています。